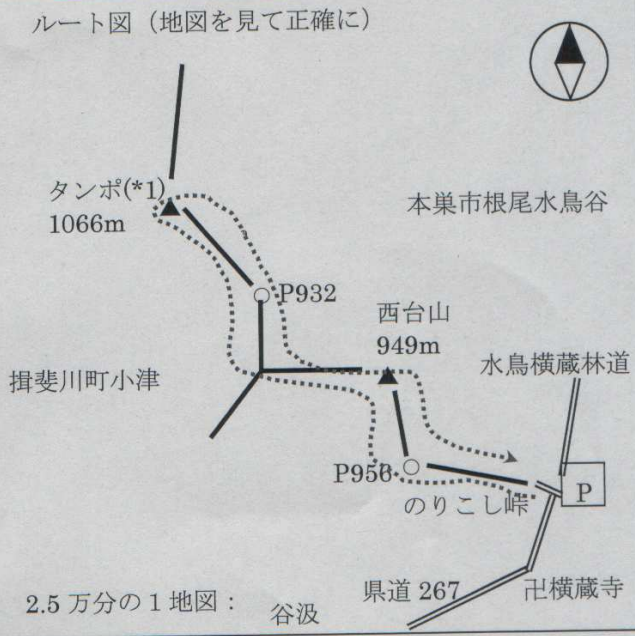


10月度 例会 個人 山行報告書		報告者	中山 正夫	参加 メンバー	中山 正夫(記)
		報告日	11/10		
山城	奥美濃	山行日	15年 10月 10日 (土)		
山名	西台山・タンポ				

山行目的 奥美濃の一等三角点の山を楽しむ

コースタイム (天候: 天気図記号)

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集
会担当者



10/(土)晴れ後曇り
3:00 起床
3:45 自宅発
6:35 のりこし峠着
6:50 峠発
7:45~:8:00 西台山
8:50~:55 休憩 P932
9:15 タンポ頂上着
9:35 頂上発
10:35~:45 西台山
11:35 のりこし峠着
12:00 峠発
15:30 自宅着

*1: タンポは、田んぼ(湿地帯)が語源で、何ヶ所か刈場があった。一等三角点の表記は月夜谷山
*2: トリカブトは青紫色のきれいな花が咲くが、根からアマガサ系の毒(附子アス)がとれる。神経性の毒で顔が無表情になり、ブスの語源となっている。

タンポ

〈山行報告〉10/10(土)3:45 にバイクで自宅発。名神大垣 IC・掛斐川町乙原・横蔵寺と走り、水鳥横蔵林道を登って行く、2箇所ほど、「落石多数、林道崩落の為通行不可」の看板があるが、去年の経験から、たぶん大丈夫と思い進む。舗装上に落ちた石が多くローギヤで蛇行してよけながらなんとか、のりこし峠 6:35 着。根尾水鳥方面ゲート通行止め。6:50 峠発、薄い踏み跡と古いテープに導かれ樹林の中を登って行く。尾根の左側は桧林、右側雑木林のアップダウンを繰り返して P956 通過、石灰岩質の岩の間の急登で西台山の広い山頂あたりに出るが、広すぎて頂上がわからない。テープをたよりに、7:45 西台山頂上着。紅葉前の木の中で、展望なし。木に西台山のプレートのみ。真西に向かい顕著なピークで北へ方向転換、ここまで小ピークのアップダウンで、獣道と人跡の見分けと読図が重要と思う。P936 で今日初めて北側が開けタンポ(*1)のをぞむ。一旦下ると、イシの刈場とトリカブト(*2)の群落あり。踏み跡のど真ん中に動物のフン(たぶん熊か猪)あり、よけて最後の急登、少し藪がバリ状態をかき分け、9:15 にタンポ頂上着。大きい一等三角点(18×18cm の□)で真ん中の十字に黒ペンキが塗られ、まだ新しい。回りは刈り込まれてはいるが、展望は灌木がじゃまで良くない。

かすかに、小津権現山と花房山の頭が確認できる程度。9:35 来た道戻り P932 のコルに下る。少ないテープと薄い踏み跡をたよりに、読図も頻りに繰り返して、西台山 10:35 着。広い山頂の降口を慎重に探り、のりこし峠 11:35 着。帰りの林道は水鳥谷方面に下るつもりだったが、崩壊、落石が心配で中止し、横蔵寺にくだる。15:30 自宅着。

〈リーダー所見〉1年前に、土曜日、鎗ヶ先山に登った後に、のりこし峠でテント泊し、日曜日、タンポに登るつもりが、勘違いで反対側の高屋山、魚金山方面に入り込み失敗した経験を踏まえ。今回、念願のタンポに登頂でき満足。昨年より林道の崩壊が進み、このルートも後数年で、林道閉鎖とされ、登れなくなると思う。行くなら今の内ですよ!

美人でも出様でブスよトリカブト
あこがれのタンポにつづくすき原
昔日の体力落ち藪もがきおり
900m 地点で悲しみがくる
跳ね返る藪に逆らい歩みゆく
今更退路などわれに無し
沖仙

確認
(リーダー)
中
15/10/28
山
作成
(報告者)
中
15/10/28
山